

医薬品化学研究室 公開セミナー

令和3年

10月13日 **水** 15:00～

会場：38号館9階 第一講義室

講師：鳴海 哲夫 先生 (静岡大学大学院 総合科学技術研究科 准教授)



演題：ペプチドと有機化学：
創薬や医療におけるモダリティ分子としての可能性

ペプチドは、微量で強力な生理活性を有するものが多く、標的とする受容体に特異的に作用することから、低分子医薬や抗体医薬の問題点を低減しつつ、同時に双方の優位点を活かせる中分子創薬の核となる分子群です。一方で、ペプチドは酵素によって容易に加水分解されるため、ペプチドはなかなか薬にはならないと言われてきました。しかし近年になり、その壁に挑戦する研究者が増えたことで、ペプチドを中心とした医薬品化学やケミカルバイオロジーが大きく発展しています。本講演ではペプチド結合等価体を中心に、ペプチド創薬に関して御講演して頂く予定です。

鳴海先生のHP：<https://wwp.shizuoka.ac.jp/tenarumi/>

研究コア③-11 「機能性物質の安定供給を指向した低環境負荷型有機反応の開発」共催

お問い合わせ

薬学部 前川智弘 (maegawa@phar.kindai.ac.jp 内線:5574)